

こ	意	は	人	き	も	一	方	ま	は	区	か	目	の	す	目	2	質	ま	北
の	味	危	は	を	一	賢	向	せ	、	の	し	線	提	。特	配	0	問	す	区
賢	で	機	安	欲	ひ	人	性	ん	具	5	、	に	案	。特	り	1	し	公	公
人	す	に	全	へ	、	は	に	。そ	体	年	少	寄	を	に	の	8	し	明	明
の	°	直	な	お	佞	安	つ	こ	性	先	子	、	随	公	き	年	°	党	党
言		面	時	も	人	き	い	で	が	1	高	所	明	いた	度			議	議
葉		し	に	ふ	へ	に	て	、	乏	0	齡	に	党	予	予			員	員
に		て	将	ー	ね	居	、	今	し	年	社	取	の	算	算			団	団
沿		安	来	と	い	て	質	後	い	先	会	入	予	に	と			を	を
っ		全	の	あ	じん	危	問	の	と	へ	や	れ	算	つ	し			代	代
て		・	危	り	ん	へ	さ	北	の	災	災	て	し	い	、			表	表
、		安	機	ま	は	あ	せ	区	印	害	な	い	て	て	高			し	し
北		心	に	す	は	や	て	の	ど	ど	た	は	く				て	て	
区		を	備	つ	危	ふ	い	抱	持	へ	へ	だ	、	評				予	予
の		願	え	ま	ふ	き	た	え	た	の	の	だ	き	価				算	算
ビ		う	、	り	き	に	だ	る	ざ	備	備	き	、	し				に	に
ジ		ー	愚	、	居	居	だ	る	る	え	え	め	区	ま				つ	つ
ョ		と	か	賢	て	安	き	を	を	、	北	の	民					い	い
ン		い	な	い	安	お	ま	へ	え	し	北	区	区					た	た
に		う	人	い	安	お	や	お	え	し	北	民	民					し	し

平成34年度までに100億円の基金を積	た、神戸市の経費2850億円を勘案して、	です。港区は阪神淡路大震災の復興にかかっ	復旧復興事業を迅速に行うには、財源が必要	基金がございませぬ。	り組んでおりますが、北区には災害に備える	ております。全国的にも数多くの自治体で取	た復旧・復興を実現するため基金、となつ	発災直後から、区主導で迅速かつ地域に即し	この目的は、首都直下地震等の備えとして、	基金積立金として、300億円を計上しました。	問します。港区は平成29年度より震災復興	最初に持続可能な、基金のあり方について質	いたします。	それでは今後の北区のビジョンを掲げて質問	ませぬ。	をにかけているのが日本共産党と言わざるをえ	ど、北区政が取り組む重要な施策にブレーキ	地域を解消する、道路整備にも反対するな	直下地震の被害想定で、最も危険な木造密集
---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	------------	----------------------	----------------------	---------------------	----------------------	----------------------	------------------------	----------------------	----------------------	--------	----------------------	------	-----------------------	----------------------	---------------------	----------------------

は	う	排	過	素	録	り	え	変	海	た	め	リ	二	す	次	ま	が	も	み
、	な	出	去	の	的	、	て	動	水	、	、	ケ	千	。国	に	す	必	、	立
二	背	削	最	世	な	こ	い	を	面	暑	多	ー	十	国	地	。	要	早	て
酸	景	減	高	界	水	れ	ま	示	の	い	く	ン	七	連	球		と	急	る
化	の	が	を	平	準	ま	せ	す	上	年	の	と	年	の	温		考	に	目
炭	中	必	更	均	に	で	ん	長	昇	と	異	洪	は	世	暖		え	基	標
素	で	要	新	濃	ま	安	。	期	、	な	常	水	、	界	化		ま	金	と
の	、	だ	し	度	で	定	北	的	海	り	気	、	壊	気	対		す	を	な
排	CO	「	こ	が	減	し	極	指	洋	ま	象	猛	滅	象	策		が	創	っ
出	2	と	れ	、	少	て	の	標	の	し	に	烈	な	機	基		、	設	て
削	1	指	ま	4	し	い	海	の	酸	た	よ	な	な	関	金		し	お	
減	が	摘	で	0	ま	ま	氷	勢	性	。	る	被	害	の	に		、	り	
目	開	し	以	3	す	、	域	いは	化	二	甚	を	も	報	つ		災	ま	
標	会	ま	上	・	。	ま	は	は	、	酸	大	た	た	告	い		害	す	
を	さ	した	に	3	二	っ	平	、	と	化	な	ら	し	書	質		に	。	
、	れ	。	抜	p	酸	た	年	ま	い	炭	影	し	た	に	問		備	北	
2	、	この	本	p	化	く	を	っ	っ	素	響	ら	ハ	よ	し		え	区	
0	日	よ	な	m	炭	衰	下	た	た	濃	が	し		ま	し		る	と	
3	本			で			回	く	気	度	生	含					こ	し	
0				、				衰	候	や	じ						と	て	

年	表	た	に	北	ま	継	は	町	携	も	ム	こ	を	次	輝	を	康	リ	康
度	し	取	は	区	た	続	国	村	が	っ	構	そ	お	に	く	実	に	テ	に
に	ま	組	は	の	り	的	と	と	必	と	築	必	伺	一	と	感	関	ラ	関
2	し	み	は	見	組	な	の	の	要	も	と	要	い	人	は	す	す	シ	す
0	た	を	の	解	み	行	連	連	で	重	運	な	し	が	、	る	る	ー	る
1	°	行	整	を	を	財	携	携	す	要	用	人	ま	輝	す	こ	情	で	情
3	今	う	備	お	行	政	、	、	°	な	が	材	す	く	べ	と	報	°	報
年	後	必	と	伺	改	革	都	さ	こ	の	で	か	°	一	て	は	で	°	で
度	、	要	基	い	が	必	道	ら	れ	は	き	と		に	の	な	求	へ	求
比	北	が	金	し	要	要	府	の	ら	、	る	考		つ	人	い	め	ル	め
マ	区	あ	が	ま	あ	で	県	連	の	業	、	え		い	が	で	ら	ス	ら
イ	も	り	必	す	り	す	と	の	連	務	ま	ま		て	、	し	れ	リ	れ
ナ	、	ま	要	°	ま	°	の	連	携	に	す	が		質	健	よ	テ	テ	て
ス	目	す	と		う	そ	連	携	を	精	、	、		問	康	う	ラ	ラ	い
2	標	°	考		め	の	携	進	進	通	北	北		し	で	か	シ	シ	る
6	達	そ	え		る	た	を	め	め	し	区	区		ま	豊	°	ー	ー	の
%	成	の	ま		う	め	め	う	う	、	の	の		°	か	そ	と	と	が
と	に	た	す		え	°	の	シ	シ	シ	見	見		人	に	の	は	は	へ
、	向	め	が		ス	た	の	ス	ス	テ	解	解		が	幸	健	、	ス	ル
発	け		、		°	め	区	°	°	°	い	い		が	せ	ス	健	ス	ス

は	策	健	で	リ	す	つ	過	は	守	る	ま	い	こ	リ	か	流	健	な	こ
、	に	康	す	ス	。	け	剰	、	り	も	た	し	と	テ	判	れ	康	が	こ
東	取	に	。	ク	さ	、	な	減	保	の	、	が	が	ラ	断	て	情	り	で
京	組	な	足	も	ら	心	塩	塩	つ	に	へ	必	必	シ	つ	お	報	ま	す
都	ん	る	立	上	に	臓	分	対	こ	ス	ル	要	考	ー	か	り	や	。	そ
平	で	ま	区	が	、	や	摂	策	と	リ	ス	と	え	を	な	、	サ	現	の
均	お	ち	で	り	腎	脳	取	を	で	テ	リ	考	ま	、	い	プ	在	こ	と
よ	り	ー	は	ま	臓	の	は	力	。	ラ	テ	え	す	適	の	リ	、	と	が
り	ま	を	一	す	機	疾	、	説	か	シ	ラ	が	が	切	が	メ	何	新	病
約	す	掲	住	。	能	患	高	し	ね	ー	シ	、	現	年	現	ン	が	聞	気
2	。	げ	ん	だ	が	が	血	て	て	は	は	状	状	齢	で	ト	や	、	ケ
歳	足	、	で	か	起	起	圧	お	よ	個	年	で	。	に	の	の	ケ	テ	ガ
短	立	全	い	ら	こ	り	と	り	り	人	応	そ	。	じ	広	の	レ	ビ	の
い	区	区	、	減	り	や	な	。	。	の	じ	こ	。	て	告	予	、	、	の
、	の	的	健	塩	やす	く	り	な	北	努	て	で	。	周	な	防	ネ	。	予
健	健	な	康	が	く	なり	、	ぜ	区	力	知	。	。	知	ど	に	ッ	。	防
康	康	健	で	必	なり	。	血	な	医	を	す	。	。	す	が	に	ト	。	に
に	寿	康	自	要	り	。	管	。	師	求	。	。	。	。	大	。	。	。	。
関	命	施	ず	な	。	。	を	。	会	め	。	。	。	。	量	。	。	。	。
心			と	の	の	ま	傷	。							に				。

に	認	つ	待	の	認	お	の	女	症	0	は	厚	次	北	で	ス	は	歯	も
よ	知	な	、	面	知	り	第	性	す	万	、	生	に	区	に	マ	、	科	、
る	症	が	一	倒	症	ま	一	は	る	人	2	労	軽	の	な	ホ	区	健	
場	に	り	家	を	は	す	が	6	割	、	0	働	度	今	っ	で	内	診	
合	なる	ま	離	見	、		「	割	合	と	2	省	認	後	て	の	の	を	
も	なる	す	散	る	介		認	弱	は	予	0	に	知	の	ま	取	薬	行	
あ	ので	。し	、	介	護		知	と	、	測	年	よ	症	の	い	組	局	っ	
り	では	かし	家	護	さ		症	の	8	さ	6	る	対	取	り	み	店	て	
ま	あり	、	族	離	れ		に	調	5	れ	3	認	策	組	お	を	で	お	
す	あ	健	崩	職	る		り	査	歳	て	1	知	に	み	伺	行	、	り	
が	り	康	壊	、	期		た	結	以	お	万	症	つ	い	い	、	ま	す	
、	ま	な	と	認	間		く	果	上	り	人	に	い	し	ま	成	。重		
高	せ	人	い	認	が		ない	に	で	ま	、	お	伺	す	果	が	症		
齡	ん	が	う	介	と		「	、	男	。認	2	伺	い	。重	見	え	化		
期	。病	いき	深	護	も		と	高	性	知	0	し	ま	。重	え	る	予		
に	気	なり	刻	、	長		な	齡	の	症	2	ま	す	。重	る	ま	防		
な	や		な	高	く		っ	者	5	を	5	す	。重	る	ま	や	で		
る	ケ		状	齡	、		な	の	割	発	年	。重	。重	る	ま				
と	ケ		況	者	親		っ	不	弱		7	。重	。重	る	ま				
体	ガ		に	虐			な	安	、		3	。重	。重	る	ま				

の機能が衰えてきます。その衰え方は骨、関節、筋肉などの運動器の働きが衰えることで、足腰が弱ってくる。すると、運動量が減少し、筋力も減少します。その結果、「虚弱」や「老衰」、「脆弱」を意味する、フレイルとなり、フレイルに早く気づき、正しく治療や予防することが大切です。認知症の判断は5段階に分かれており、軽度認知症とは、最初のMCIと第一段階のことです。この段階で、適切な治療を行うことで、認知症の進行を防ぎ、生活の質を維持することが可能です。軽度認知症を、一日も早く探し出し、早めの予防や治療に結び付けることの対策が、急務です。また、東京都医学総合研究所が開発したBPSDに対応するケアプログラムが、注目されております。妄想や徘徊といった認知症の行動や心理症状に焦点を当てた、在宅ケアプログラムです。このプログラムを導入した介護サービスの現場では、具体的な認知症の改善効果

い	会	す	を	面	め	も	り	人	女	国	減	な	2	婚	一	人	す	つ	が
ま	で	°	数	を	て	多	あ	口	性	勢	少	り	0	活	番	が	°	い	、
し	、	2	多	思	お	い	わ	問	の	調	し	ま	1	事	一	輝		て	実
た	北	0	く	い	り	理	な	題	6	査	、	し	7	業	く		、	証	
°	区	1	設	起	ま	由	い	研	0	で	6	た	年	に	施		今	さ	
残	観	7	定	こ	す	で	ー	究	%	は	0	°	の	も	策		後	れ	
念	光	年	す	し	°	し	が	所	が	、	万	婚	出	、	と		の	て	
な	協	1	る	ま	婚	た	、	に	未	2	7	姻	生	力	し		北	お	
が	会	0	こ	す	活	°	男	よ	婚	5	千	件	数	を	て		区	り	
ら	が	月	と	が	と	国	女	る	で	歳	組	数	は	い	一		の	ま	
雨	初	に	が	、	い	も	と	と	し	く	で	も	9	れ	子		取	す	
天	め	開	求	「	う	婚	も	「	た	2	し	前	4	て	育		り	°	
の	て	催	め	縁	と	活	に	適	°	9	た	年	万	す	て		組	軽	
た	「	さ	ら	結	お	支	5	当	国	歳	°	よ	人	が	す		み	度	
め	花	れ	れ	び	見	援	0	な	立	男	2	り	で	、	、		を	認	
中	火	た	て	「	合	の	%	相	社	性	0	1	過	子	子		お	知	
止	婚	北	お	的	い	施	前	手	会	の	1	5	去	育	育		伺	症	
と	一	区	り	な	的	策	後	に	保	7	5	千	最	て	前		い	対	
な	を	花	ま	場	な	を	と	め	障	5	年	組	低	の	の		し	策	
り	行	火		面	場	始	最	ぐ	・	%	の		と		が		ま	に	

所 属 は 、 3 0 委 員 会 に も 参 加 し て い た だ い て	を 行 っ て お り ま す 。 さ ら に 所 管 の 委 員 会 へ の	ン ト を 行 い 、 企 業 な ど の 連 携 も 1 2 の 事 業	2 8 年 度 は 6 1 の 講 座 を 開 設 し 、 2 9 の イ ベ	ま り 、 現 在 は 6 つ の 大 学 が ご ざ い ま す 。 平 成	送 大 学 東 京 第 三 学 習 セ ン タ ー の 誘 致 か ら は じ	し て お り ま す が 、 足 立 区 は 1 9 9 3 年 に 、 放	要 で す 。 北 区 も 6 つ の 大 学 と 包 括 的 な 連 携 を	人 を 輝 か せ る 施 策 と し て 、 大 学 と の 連 携 が 重	し ま す 。 。	つ な が る と 考 え ま す が 、 北 区 の 見 解 を お 伺 い	る こ と で 、 北 区 の イ メ ー ジ ア ッ プ や 活 性 化 に	官 民 が 連 携 し た 「 縁 結 び イ ベ ン ト 」 を 支 援 す	は 北 区 商 店 街 連 合 会 と タイ ア ッ プ す る な ど 、	ベ ン ト を 「 縁 結 び に つ な げ る 」 と か 、 街 コ ン	か 、 北 区 文 化 振 興 財 団 は 、 音 楽 や 劇 な ど の イ	ツ を 楽 し む こ と を 「 縁 結 び 」 と つ な げ る と	く 、 北 区 体 育 協 会 は 、 ス ポ ー ツ 観 戦 や ス ポ ー	た 。 北 区 観 光 協 会 の 観 光 イ ベ ン ト だ け で な	ま し た が 、 予 定 を 上 回 る 応募 が ご ざ い ま し
--	--	---	--	--	--	--	--	--	-----------------------	--	--	--	--	--	--	---	--	---	---

ロ	が	化	で	生	安	輝	次	が	を	れ	は	学	り	こ	様	条	足	携	お
ー	進	し	空	活	全	く	に	、	活	て	商	校	ま	と	々	件	立	も	り
ズ	む	て	き	に	安	と	ま	、	か	お	店	の	す	が	な	に	区	盛	り
ア	一	お	家	関	心	は	ち	、	し	り	街	学	。こ	で	知	が	が	ん	ま
ッ	方	り	や	わ	な	、	が	バ	取	。北	の	力	の	き	識	大	大	に	す
プ	、	ま	所	る	ま	バ	が	リ	組	区と	活	の	上	る	や	学	行	。そ	
し	所	す	有	環	ち	ア	輝	フ	み	連	性	や	地	か	経	を	わ	れ	
て	有	。空	者	境	づ	リ	く	リ	を	携	化	域	域	、	験	、	れ	て	
お	者	き	不	整	く	ー	に	ー	期	した	な	の	取	大	を	お	り	ま	
り	不	家	明	備	り	や	つ	や	待	、	ど	取	組	学	、	り	ま	す	
ま	明	問	土	か	、	イン	い	イン	し	さ	、	み	に	誘	つ	。つ	。こ	区	
す	土	題	地	と	環	フラ	し	フ	た	ま	さ	よ	よ	致	ま	ま	の	内	
。法	地	は	の	考	境	の	い	ラ	大	ま	ら	り	り	の	。つ	。大	の	の	
務	問	、	問	え	や	問題	と	の	学	な	解	組	目	的	。つ	学	背	事	
省	題	国	題	ま	賑	が	考	更	の	効	決	み	的	と	。つ	連	景	業	
は	が	の	が	す	わ	社	え	新	、	果	、	に	と	し	。つ	携	に	者	
2	新	法	社会	。そ	い	会	ま	、	が	表	さ	よ	て	。つ	を	。大	は	と	
0	た	整	問題	の	な	問	す	、	す	表	ら	り	お	。つ	持	学	の	の	
1	に	備	題	中	ど	題	。ま	、	。ま	表	に	中	。お	。つ	つ	の	持	連	
	ク				、		ち		。ま										連

に、	今後、	不在者財産	者の所在が不明な	ます。その対象とな	し、管理不全な空家	に、	です。世田谷区では、	え、特定が困難にな	ら、はじまり、時間	し、相続人が相続登	す。特に所有者不明	都市計画の整備にも	災害の復興に限らず	な、ったこと、で、	日本大震災の復興に	表、	は、	所有者不明	7年
どの	北	管理	な	った	の	、	、	ると	間	続	土地	、	、	、	際	、	、	不明	6月
の	区	人の	な	空	の	、	、	い	経	登	土	、	、	、	し	、	、	にな	、
よう	は	の仕	な	き	解	、	、	う	過	記	地	、	、	、	、	、	な	、	5
に	所	組	な	家	消	、	、	ケ	と	を	は	、	、	、	、	、	、	、	0
取	有	み	な	家	に	、	、	ス	と	せ	、	、	、	、	、	、	、	、	年
組	者	を	な	の	取	、	、	が	も	ず	、	、	、	、	、	、	、	、	以
む	不	活	な	中	組	、	、	一	に	放	、	、	、	、	、	、	、	、	上
の	明	用	な	で	ん	、	、	空	相	置	、	、	、	、	、	、	、	、	登
か	な	し	な	、	で	、	、	家	続	す	、	、	、	、	、	、	、	、	記
お	空	ま	な	、	、	、	、	等	人	る	、	、	、	、	、	、	、	、	の
伺	家	し	な	、	、	、	、	の	が	こ	、	、	、	、	、	、	、	、	変
い	や	ま	な	、	、	、	、	対	一	と	、	、	、	、	、	、	、	、	更
し	土	した	な	、	、	、	、	策	般	か	、	、	、	、	、	、	、	、	が
ま	地	た	な	、	、	、	、	の	的	、	、	、	、	、	、	、	、	、	な
す	の	した	な	、	、	、	、	推	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	く
。	解	た	な	、	、	、	、	進	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
。	消	た	な	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
。	消	た	な	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、

区	よ	た	賃	い	解	請	務	へ	に	務	国	共	区	業	れ	設	共	労	次
が	う	法	金	る	いた	負	単	の	よ	単	は	工	が	者	て	や	工	務	に
積	示	定	単	請	た	業	価	入	る	価	、	事	発	の	お	補	事	単	、
極	し	福	価	負	だ	者	基	職	処	に	毎	設	注	人	り	修	に	価	区
的	て	利	基	契	き	の	準	が	遇	つ	年	計	す	材	ま	、	に	に	内
に	お	費	引	約	、	皆	上	促	改	い	〇	労	る	不	す	公	つ	業	者
取	り	に	げ	の	下	様	、	進	善	て	月	務	公	足	。	園	い	者	育
組	ま	つ	、	金	請	に	決	さ	等	は	か	単	共	が	の	植	て	成	の
む	す	い	ま	額	企	は	定	れ	を	、	し	価	工	急	栽	は	質	た	め
こ	。こ	も	た	見	業	、	さ	る	通	技	か	を	事	務	や	、	問	の	た
と	の	、	、	直	と	特	れ	よ	じ	能	、	基	の	と	剪	学	し	た	め
と	よ	適	下	し	の	例	い	う	て	労	こ	準	見	な	校	ま	め	の	、
も	う	切	請	や	間	措	ま	、	、	働	の	と	積	っ	の	建	。北	、	公
に	な	に	業	技	で	置	す	公	若	者	公	し	も	て	替	区	公	共	工
、	状	対	者	能	既	の	。該	共	い	の	工	て	り	お	え	が	事	事	設
条	況	応	を	労	に	趣	当	工	方	賃	事	お	は	り	、	行	。北	設	計
例	に	さ	含	働	締	旨	す	事	の	金	設	り	、	ま	く	区	計	計	計
の	、北	れ	め	者	結	を	る	設	引	引	計	ま	国	。北	行	道	行	公	計
				へ	し	ご		計	上	上	〇	す	の		わ	路	の	公	計
				の	て	理		業	げ	げ			公			の	建	計	計

つ	「	川	赤	と	び	こ	線	す	ト	未	が	も	さ	北	含	対	者	ま	整
い	東	区	羽	な	て	の	の	。エ	ロ	来	、	、	ら	区	め	し	の	た	備
て	京	ま	を	な	い	路	地	イト	セ	が	周	に	区	の	て	、	賃	、	を
「	圏	で	起	っ	る	線	下	ト	ブ	輝	知	、	取	の	契	金	公	強	
国	に	の	点	て	る	の	を	ラ	ン	く	、	組	の	約	に	共	く		
土	お	路	に	お	言	特	、	イ	の	に	徹	み	契	反	工	事	求		
交	け	線	環	り	や	徴	羽	ナ	、	つ	底	を	約	映	設	め			
通	る	で	状	ま	私	は	田	ー	、	い	を	求	さ	さ	計	た			
大	今	す	七	す	鉄	、	空	は	整	て	め	め	れ	て	労	い			
臣	後	。交	号	。一	と	東	港	赤	備	は	た	たい	て	い	務	思			
に	の	通	線	方	の	京	ま	羽	促	必	い	と	る	か	単	い			
答	都	政	の	、	各	都	で	を	進	要	思	思	の	価	価	ま			
申	市	策	地	メ	線	心	の	つ	に	あ	い	い	検	が	、	す			
し	鉄	審	下	ト	を	か	路	な	つ	る	し	ま	証	、	現				
ま	道	議	を	ロ	通	ら	線	ぐ	い	と	。思	。思	で	場	働				
し	の	会	り	セ	、	放	で	、	て	思	い	ま	き	労					
た	在	は	、	ブ	江	射	す	戸	お	い	ま	る	よ	働					
。そ	り	、		ン		状	号		伺	し	す	う	う						
の	方			は	環	に			い	ま									
	に			、	状	延			し										
					線				ま										

口	率	日	二	し	す	開	東	は	に	線	の	の	で	避	算	こ	可	て	た		
に	は	本	つ	て	。そ	ま	京	復	よ	だ	首	、	す	と	性	の	に	お	め		
対	、	に	目	の	。そ	で	区	旧	る	け	都	大	。1	い	か	二	は	り	、		
し	0.02	お	は	機	のた	一	内	に	と	で	環	動	つ	う	ら	つ	至	ま	、		
、	%	け	北	能	ため	か	の	一	、	す	状	脈	は	新	だ	の	っ	す	路		
0.02	と	る	朝	が	、	月	道	か	首	。政	交	と	な	た	け	路	て	。し	線		
%	い	人	鮮	求	、	以	路	月	都	府の	通	な	な	い	で	線	い	か	認		
の	う	口	の	め	首	上	も	程	直	の中	網	視	視	な	は	の	な	し	可		
人	現	あ	核	ら	都	か	、	度	下	央防	は	点	点	々	役	の	か	し	に		
し	状	た	攻	れ	交	か	不	、	地	災会	、	か	か	割	割	が	、	、	向		
か	で	り	撃	ま	通	か	通	地	震	議の	山	ら	捉	は	は	現	事	け	て		
収	す	の	に	す	網	か	区	下	の影	手	手	え	え	、	、	状	業	、	9		
容	。つ	核	備	。	の	と	間	鉄	響	線	線	直	直	交	、	で	の	、	区		
で	ま	シ	え		バ	見	が	も	で	と	メ	す	す	通	、	す	採	、	が		
き	り	ェ	る		ック	込	多	一	、	ト	ト	こ	こ	の	利	。し	算	性	協		
る	、	ル	役		ク	ま	発	週	、	ロ	口	と	と	便	、	、	性	議	を		
シ	全	、	割		ア	れ	し	間	、	大	江	が	が	性	、	、	、	、	、		
ェ	人	普	で		ッ	て	、	程	再	戸	江	重	重	や	採	、	、	、	、		
ル		及	す		プ	お	ま	度			戸	要	回	採						、	
			。		と	り	ま	、													、
						ま															、

丘	ン	て	館	を	問	最	問	次	を	ブ	す	の	地	避	は	ウ	ス	ス	タ
ナ	ピ	替	と	記	し	初	し	に	お	ン	。是	路	下	難	地	ル	。%	。イ	ー
シ	ッ	え	し	念	ま	は	ま	赤	伺	の	。非	線	施	を	下	市	ス	が	
ヨ	ク	計	て	し	す	、	す	羽	い	整	、	が	設	呼	施	で	イ	な	
ナ	・	画	、	て	。桐	桐	。桐	台	し	備	早	あ	が	び	設	は	ス	い	
ル	パ	に	北	建	ケ	ケ	ケ	・	ま	が	急	れ	ほ	か	3	と	ラ	の	
ト	ラ	っ	区	て	丘	丘	丘	桐	す	必	に	ば	と	け	2	比	エ	こ	
レ	リ	い	の	ら	体	体	地	ヶ	。桐	要	エ	ん	ど	て	3	べ	ル	と	
ー	ン	て	シ	ま	育	育	域	丘	ケ	と	イト	あ	り	お	・	て	100	こ	
ニ	ピ	は	ン	し	館	館	の	地	ケ	考	ラ	り	ま	り	2	も	%	と	
ン	ッ	、	ボ	た	は	の	諸	域	ケ	え	イ	ま	せ	ま	%	極	、	で	
グ	ク	2	ル	。当	建	建	課	の	ケ	ま	ト	ん	。ま	す	端	に	ア	す	
セ	を	0	で	時	替	替	題	諸	ケ	す	ライ	せん	。ま	が	低	メ	リ	。海	
ン	記	2	し	は	え	え	に	題	ケ	が	イ	。ま	。都	、	い	リ	カ	外	
タ	念	0	た	北	に	に	つ	に	ケ	、	ナ	さ	心	%	。韓	カ	。は		
ー	し	年	。今	区	つ	つ	い	つ	ケ	北	と	し	以	国	。%	。イ	、		
と	て	東	後	体	い	い	て	い	ケ	区	メ	く	外	の	、	ギ	ス		
の	、	京	の	育	質	質	質	質	ケ	の	ト	こ	で	ソ	イ	リ	イ		
連	西	オ	建							見	ロ								
携	が	リ								解	セ								

0	建	質	最	見	の	ケ	丘	グ	さ	拡	や	東	け	大	桐	次	し	次	を
世	て	問	後	解	定	丘	地	セ	し	充	西	洋	た	の	ケ	に	ま	の	想
帯	ら	し	に	を	住	団	域	ン	く	な	が	大	取	課	丘	、	す	5	定
の	れ	ま	、	お	化	地	で	タ	こ	ど	丘	り	題	団	、	°	0	し	
、	ま	す	赤	伺	を	再	°	ー	の	の	ナ	組	で	地			年	た	
東	し	°	羽	い	促	生		に	東	シ	み	あ	あ	の			を	、	
洋	た	赤	台	し	進	事		最	洋	ヨ	を	る	再	再			見	ス	
一	°	羽	西	ま	す	業		も	大	ナ	行	、	生	生			据	ペ	
の	当	台	小	す	べ	を		近	学	ル	う	フ	事	地			え	ー	
マ	時	西	学	°	き	活		い	や	ト	こ	ア	業	の			た	ス	
ン	の	小	校		と	用		地	ナ	レ	と	ミ	に	再			、	や	
モ	赤	学	の		考	し		域	シ	ー	を	リ	つ	生			北	設	
ス	羽	校	建		え	て		が	ヨ	ニ	求	一	い	事			区	備	
団	台	は	て		ま	、		す	ナ	ン	め	層	て	業			の	を	
地	団	昭	替		す	が		が	ル	グ	ら	の	は	お			見	要	
で	地	和	え		が	、		北	ト	セ	れ	定	、	伺			解	望	
し	は	3	に		、	北		区	レ	ン	て	住	北	°			を	し	
た	3	7	つ		北	区		の	ー	タ	め	化	区				お	ま	
°	3	年	い		区	の			ニ	ー	ま	に	の				伺	す	
都	0	に	て						ン	ン	ま	む	最				い	°	

